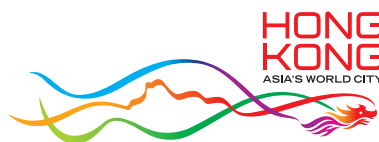


HONG KONG LINER



(写真・左から)『風再起時』脚本のス・フェイ氏とフィリップ・ユン監督、『マッド・フェイト』のソイ・チェン監督、欧慧心(ウィンサム・アウ) 首席代表、『マッド・フェイト』主演のラム・カートン氏、『毒舌弁護人〜正義への戦い〜』主演のダヨ・ウォン氏とジャック・ン監督、『ブルー・ムーン』出演のグラディス・リー氏とアンディ・ロー監督

「香港映画祭2023 Making Waves」を東京で開催

昨年11月に続く2度目の開催。来日ゲストによるQ&Aも実施され、ほぼ全ての上映回が満席に

香港経済貿易代表部と香港国際映画祭協会は11月2日～5日の4日間にわたり、東京・恵比寿のYEBISU GARDEN CINEMA を会場に「香港映画祭 2023 Making Waves – Navigators of Hong Kong Cinema 香港映画の新しい力」を開催しました。昨年に続き2回目の開催となった本映画祭では、最新作から名作のレストア版まで計7本の香港映画をラインナップ。連日、多くの観客でにぎわいました。

初日に行われたレセプションで、香港経済貿易代表部の欧慧心(ウィンサム・アウ) 首席代表は、東洋と西洋が出会う国際文化交流の中心地としての香港の地位強化は、香港特別行政区政府の最優先事項だと述べています。

「行政長官は先頃、映画発展基金と『クリエイティブスマート計

画』に総額43億香港ドルを注入し、文化・クリエイティブ産業を支援すると発表しました。さらに、国際的な交流を盛んにし、才能を育成するために、香港の映画製作者がアジアやヨーロッパの映画製作者と共同製作する映画プロジェクトに資金を提供する『香港・欧州・アジア映画合作助成計画』を立ち上げる予定です。私たちは今後も、香港映画を世界にPRしていきます」と欧首席代表は語りました。



『毒舌弁護人〜正義への戦い〜』主演のダヨ・ウォン氏(写真・右)とジャック・ン監督



『マッド・フェイト』上映後Q&Aに登場した、主演のラム・カートン氏(写真・左)とソイ・チェン監督

経済活性化とビジネス支援を進める施政方針演説

李家超行政長官が香港の発展に向けた諸施策を発表。専門部署の設置により、企業と人材を積極誘致

李家超（ジョン・リー）行政長官は10月25日、就任後2回目となる施政方針演説を行い、「一国二制度」の下での香港の強みを最大限に生かしつつ、香港経済を活性化させ、ビジネスを支援するためのさまざまな施策を説明しました。その中には、国の第14次5カ年計画で示された、香港の「8つの中心」の発展も含まれます。

商業と金融の世界的ハブとしての香港の強みを向上させるため、政府は「本部経済」を推進し、より多くの中国本土および海外の企業や人材を香港に誘致していきます。10月26日以降、香港にある海外企業で働く外国人は、複数年有効な中国本土への数次ビザを香港で申請できるようになり、申し込みの迅速な処理も行われています。

政府は重点企業の誘致と並行して人材の誘致と保持にも力を入れており、10月30日には「香港人材サービス弁公室」が開設されました。同室では人材誘致戦略を策定し、来港した人材へのサポートを提供しています。



施政方針演説について記者会見した李家超（ジョン・リー）行政長官

施政方針演説の主な内容は、6～7ページをご覧ください。

「香港フィンテック・ウィーク2023」

業界の第一人者たちがフィンテックの未来を議論。政府は香港でのフィンテック発展を促す施策を発表

「香港フィンテック・ウィーク」が10月30日から11月5日まで開催され、世界各地から500名以上の講演者と700社を超える出展者が香港に集結。期間中の来場者数は3万人超に上りました。

金融財務省と投資推進局（インベスト香港）の主催で行われた香港フィンテック・ウィークは、金融サービスのさまざまな側面だけでなく、金融以外の分野にも広がりつつあるフィンテックの未来を形作ることを目指したものです。著名な講演者による基調講演やパネルディスカッション、ワークショップに加え、展示会やデモセッション、ネットワーキングなど、多彩なプログラムが実施されました。

また、香港特別行政区政府は11月2日、同イベントで香港におけるフィンテックの発展に向けた一連の主要施策を発表しています。これらの施策により、フィンテックと実体経済の共同発展促進（新たな総合ファンドプラットフォームの立ち上げを含む）、中国本土と香港の相互訪問者に便利な越境デ



ジタル人民元アプリの利用推進、仮想資産およびWeb3.0の実体経済への応用とイノベーションの促進、そして規制枠組みのさらなる改善を図っていきます。



蔡若蓮教育長官が東京でPISAシンポジウムに出席

東京大学主催の「OECD PISA 最新結果アジア・ローンチ・シンポジウム」で、香港の教育制度を紹介

蔡若蓮（クリスティン・チョイ）教育長官は12月6日、東京大学で開催された「OECD PISA 最新結果アジア・ローンチ・シンポジウム」に出席し、日本およびアジアの他地域から集まった教育関係者と共に、未来の教育のあり方について議論しました。東京大学公共政策大学院が主催し、OECDが共催したこのシンポジウムには、世界中の教育界やビジネス界などから約500人が参加しました。

シンポジウムのパネルディスカッションで蔡長官は、香港の教育制度がどのように生徒の学びとウェルビーイングを支

援しているかについて語り、学習到達度調査「PISA2022」の結果により、その強みが改めて確認されたと述べました。教育の公平性において、香港は学力の高い国・地域のうち2位にランクしており、香港では個々の生徒の社会的経済的地位が成績に与える影響はほとんどないことが示されています。

滞在中、蔡長官はさいたま市立大宮国際中等教育学校を訪れて学級活動や学校施設を参観したほか、さいたま市教育委員会の竹居秀子教育長と面会し、教育問題について意見交換。また、日中友好会館の小川正史理事長を表敬訪問しました。日中友好会館は日本政府の委託により「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYSプログラム）」を運営しており、2008年以降、香港の学生も同プログラムに参加しています。



シンポジウムで発言する蔡若蓮（クリスティン・チョイ）教育長官（写真・右から3人目）



蔡長官（写真・中央左）は、さいたま市教育委員会の竹居秀子教育長（中央右）を訪問

香港は各種の世界ランキングで上位を維持

経済自由度

カナダのフレージャー研究所が9月に発表した「2023年世界経済自由度報告書」で、香港は世界第2位でした。5つの分野別評価では、香港は引き続き「国際貿易の自由」で首位、「規制」では3位につけています。

金融センター指数

英国のZ/Yenと深圳の中国総合開発研究院は「世界金融センター指数（GFCI）」最新版を9月に発表。香港は世界第4位を維持しました。

グローバル・イノベーション・インデックス

世界知的所有権機関（WIPO）が発表した「2023年グローバル・イノベーション・インデックス（GII）」の科学技術クラスターのランキングで、深圳・香港・広州クラスターは4年連続で世界第2位となりました。132の国・地域を対象とした全体ランキングで、香港は17位。アジアでは引き続き5位でした。



ニトリが香港に初の旗艦店をオープン

日本の家具・インテリア大手が香港1号店を開店。ビジネスと観光の国際都市・香港を起点に成長を加速

家具・インテリア大手のニトリホールディングスは、アジアでの存在感を高めるための継続的な事業拡大計画の一環として、9月22日にニトリの香港第1号店となる旗艦店をオープンしました。旗艦店は九龍湾の大型ショッピングモール内にあり、約1,858㎡の広さを誇ります。同社はまた、香港の顧客にさらなる利便性を提供するため、オンラインショップも開設しました。

Nitori Hong Kong Co., Limitedの杉浦栄総経理は「世界中に約1,000店舗を展開するニトリは『住まいの豊かさを世界の人々に提供する。』を使命に掲げており、そのためにもアジアでの成長をさらに加速させたいと考えています。香港は世界で最も重要な都市の1つであり、ビジネスがしやすい環境が整っています。この度の店舗オープンにより、ニトリの商品を香港にお届けできることをうれしく思います。2032年までに域内に20店舗をオープンすることを目指しています」と語りました。

また、「香港は常にアジア有数の観光地であり、外国や中国本土から洗練された観光客が多く訪れています。こうした点からも香港はニトリの商品を世界に披露する理想的な場所であり、香港から主要市場におけるニトリのブランド認知度を高めていければと考えています」とも述べています。



オープニングセレモニーに出席した(写真・左から) Nitori Hong Kong Co., Limitedの杉浦栄総経理、香港投資推進局の黄淑賢(エディス・ウオン) チーフマーケティングオフィサー、在香港日本国総領事館の岡田健一総領事(大使)、Kerry Real Estate Agency Limitedのビクター・ウン商業部門シニアディレクター、株式会社ニトリホールディングス 取締役 グローバル商品本部本部長 兼 グローバル販売事業推進室室長の武田政則氏

マルチブランド展開する日本の外食企業「サンパーク」が香港の「フォーラム・グループ」と戦略的協力契約を締結

2023年4月、香港経済貿易代表部とインベスト香港は4日間の「外食・食品(F&B)企業向け香港視察ミッション」を開催しました。日本全国から19社の日本の外食・食品企業を招待し、香港飲食・食品小店などの現地視察、飲食ビジネス成功の秘訣などに関する講演、香港のパートナー候補企業20社とのビジネスマッチング、業界関係者や在香港企業との交流会など、盛りだくさんのプログラムを実施しました。

11月17日(金)、同ミッションでの出会いをきっかけにパートナーシップの交渉を行ってきた日本のF&B企業サンパークと香港のフォーラム・グループが、同ミッション初の戦略的協力契約締結に至りました。両社は今後、「高木珈琲」、「カルビ火山」、「八輝庵」などサンパークの展開する様々なF&Bブランドを香港に紹介します。



左から、香港経済貿易代表部の謝智浩(レオ・ツェー) 首席代表代行、サンパーク・ホールディングスのアリエル・リー事業開発ディレクター、フォーラム・グループ・ホールディングスのサミュエル・ヨン最高経営責任者、香港経済貿易代表部の橋場清子投資推進室長

セミナー「日本の技術系スタートアップ〜香港で飛躍しよう!〜」を開催

インベスト香港とHello Tomorrow Japanは11月28日、日本の技術系スタートアップコミュニティを対象に、セミナーを共同開催しました。香港のイノベーションとテクノロジーの最新動向を説明するとともに、技術系スタートアップが香港をどのように活用し、香港でビジネスを強化し、中国本土やアジアへと事業を拡大していけるかを議論しました。

同セミナーでは、香港政府系機関のほか、香港の投資家、インキュベーターや技術系スタートアップが登壇し、香港のフレンドリーなビジネス環境、技術系スタートアップに対する積極的な政府支援、民間による資金提供やビジネス開発などの力強いサポートについて紹介するとともに、知見や経験を参加者と共有しました。また、香港と中国への進出に関心のある日本の技術系スタートアップ3社がピッチをし、登壇者より香港進出に向けたより具体的なアドバイスを受けました。今後は、多くの日本の技術系スタートアップが香港で展開する日も遠くないものと期待されます。



香港のスタートアップ、投資家、インキュベーターとのハイブリッドのパネルディスカッション

欧慧心首席代表が九州、関西の各地を訪問

欧慧心（ウィンサム・アウ）首席代表は、日本香港協会の各地域支部と香港貿易発展局が10月に福岡と大阪、12月に鹿児島で開催した香港昼食講演会に出席。挨拶で香港に広がるチャンスを紹介しました。加えて長崎と兵庫も訪れ、各地の自治体や企業の幹部らと意見交換を行いました。



馬場裕子 長崎県副知事（写真・左）を訪問



山口信彦 大阪府副知事と

「奥能登国際芸術祭2023」に香港の芸術家が参加

2005年に廃止された能登線の旧駅で高俊明氏の展示『秘境』を開催。旅の本来の意味を考察する2作品

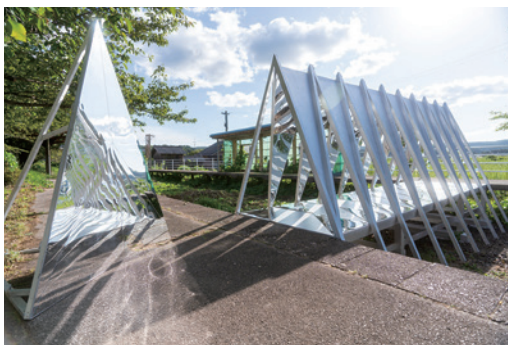
能登半島の珠洲市で9月23日から11月12日まで「奥能登国際芸術祭2023」が開催され、廃線となった能登線の旧鵜飼駅で香港人アーティスト 高俊明（コウ・シュンミン）氏の展示『秘境』が開催されました。『待合室』『秘密の通路』と題する2組の作品で構成された同展は、レジャー文化サービス局が主催したものです。

『待合室』は作家の探求的な視点を地元住民との共同創作に取り入れた作品で、身近にある品々を使って乗客の顔や状態を

表現したさまざまな造形物が、駅の待合室を非日常的な空間に変貌させました。一方、『秘密の通路』は旧鵜飼駅の2つのホームを結ぶ小さな橋です。鏡の無限反射効果を取り入れて、作家が旅の途中で発見した情景をつなぎ合わせ、万華鏡をのぞくように新しい世界を垣間見ることのできる作品となりました。



香港人アーティストの高俊明（コウ・シュンミン）氏



『秘密の通路』



『待合室』

ナイトライフを盛り上げる「香港ナイトバイブス」

香港の夜にダイナミックな趣を添え、街のナイトライフを活性化させようと、政府は「香港ナイトバイブス」キャンペーンを9月から開始しました。2024年初めまでの間、夜の時間帯に香港各所で地域の特色を生かした多彩なイベントが開催され、エンタメにアートや文化、ショッピングなどを、もっと楽しむことができます。

詳細は下記からご覧いただけます

<https://www.nightvibeshk.gov.hk/en/>



行政長官2023年施政方針演説 The Chief Executive's 2023 Policy Address

経済を活性化させ 思いやりある 幸せな社会を築く

A Vibrant Economy for
a Caring Community

行政長官2023年
施政方針演説
2023 Policy Address

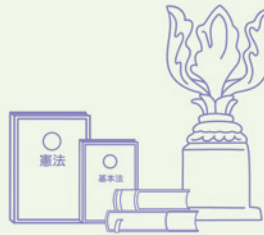
「一国二制度」を堅持し 国家の安全を守る

- 2024 年中に基本法第 23 条の法制化を完了
- エネルギー、通信、運輸交通、金融機関などの重要インフラについて、サイバーセキュリティを強化
- 愛国教育の推進
 - 愛国教育を国民教育体系に組み込む
 - 「中華文化促進弁公室」の設置
 - 国家および抵抗戦争に関する博物館をそれぞれ設立
 - 学齢児童の教育を強化



ガバナンスの向上

- 指定の項目につき 150 の指標を設定。うち 73 は新規
- 新たな地区ガバナンス体制を完全実施
- 「大型開発プロジェクト融資委員会」および「大型開発プロジェクト融資弁公室」を設置し、さまざまな投融资の選択肢を検討
- 広東・香港・マカオ大湾区における社会的・経済的利益のあるプロジェクトに投資するための共同投資基金設立につき、広東省政府およびその他の機関と検討
- 「デジタル政策弁公室」を設置し、政府サービスのデジタル化と政府データのオープン化を促進
- 業績重視の方針で公務員の管理を引き続き強化するとともに、より多くの人材を政府に引き付ける
- 異常気象への対処能力を強化し、先制的かつ戦略的なアプローチを採用
- 大湾区の他都市と共に「広東・香港・マカオ大湾区緊急対応・救助行動計画」を策定し、地域における共同緊急対応能力を強化



住みやすく活気のある街づくり

- 土地開発および住宅建設のペースと効率性を上げ、都市の再生を加速して発展の可能性を引き出す
- 今後 10 年間で、需要をはるかに上回る約 41 万戸の公共住宅を建設
- 「劏房」（集合住宅の 1 ユニットの複数の小部屋に分割した住居）の問題に取り組むタスクフォースを設置し、徹底的な調査と解決策の提案を行う
- 建物の安全性向上と管理強化のため、関連政策と法律を見直し
- 建物の省エネ化、脱炭素化を進め、資源回収とリサイクルを拡大
- 「主要交通インフラ整備詳細計画」を発表し、3 つの鉄道と 3 つの幹線道路の整備をうたう「三鉄三路」計画をより良いものとするともに、2 つの鉄道と 1 つの幹線道路に関する新規プロジェクトを推進
- 東九龍、啓徳、洪水橋／厦村において、環境に優しいスマート大量交通機関を新たに建設
- 啓徳スポーツパークの供用開始。香港体育学院のアップグレードに追加的資源を割り当て、コーチの専門トレーニングやインターンシップの機会を強化。市民のスポーツ参加を奨励
- 「輝く街プロジェクト」を立ち上げて、都市の美化活動を強化



出産を奨励し 子育てしやすい環境をつくる

- 新生児 1 人につき 2 万香港ドルの給付金を支給
- 新生児のいる家庭に対する居住関連税控除の上限を 12 万香港ドルに引き上げ
- 新生児のいる家庭が補助金対象住宅を購入する場合、抽選の機会を増やすとともに優先的に住宅を選べる「新生児子育て世帯優先住宅選定計画」を開始
- 新生児のいる家庭を対象に、補助金付き公共賃貸住宅に 1 年前倒して入居できる「新生児子育て世帯住宅優先割当計画」を開始
- 生殖補助医療を支援：公的医療機関の治療枠を増やし、費用について税控除を提供
- 勤労者世帯手当の増額。保育所の定員と手当の増加。就学前児童向け放課後保育サービスの全地区への拡大。在宅保育サービスの強化

高齢者のケアを充実させ包摂的な地域社会を育む

- 「広東省居住型介護サービス計画」の対象に中国本土の団体が運営する居住型高齢者介護施設を含めるとともに「居住型介護サービスバウチャー計画」を拡大し、高齢者の選択肢を増やす
- 「高齢者とりハビリのための I&T 応用基金」に 10 億香港ドルを追加注入。条件を満たす事業者等による最新技術を使った製品の調達、レンタル、試用を助成し、高齢者や障害者の生活の質を向上させる
- シルバーエコノミーから生まれるビジネスの可能性をつかみ、高齢者により良い製品とサービスを提供するため「シルバーエコノミーに関する諮問委員会」を設置
- 障害者向け居住型介護施設や通所訓練サービスの強化を図る。また、被雇用で総合社会保障支援 (CSSA) を受給する障害者に補助金を支給して就労を奨励
- 「ケアチーム」の訪問や連絡を通じて支援を要する介護者を特定し、支援サービスにつなげる。高齢者・障害者向けデイサービスのネットワークを拡充

高等教育の国際ハブを築き青少年の多様な発展を促す

- 政府が助成する高等教育機関における地元以外の学生枠を倍増し、全体の 4 割とする。奨学金と関連支援を強化して、より多くの海外および中国本土の学生を香港でのさらなる教育に誘致
- 「北部都会区大学都市」を開発し、高等教育機関による中国本土および海外の著名教育機関との協力強化を奨励
- 応用科学大学の設立を進め、職業・専門教育を大学レベルに引き上げる。これにより、技術・専門職でのキャリアを志向する若者の選択肢を増やす
- 情報技術分野での地元人材育成のため、香港情報技術学院を設立

優位性を強化し経済の多元化を図る

- 国際金融センターとしての地位強化：株式市場の流動性促進、オフショア人民元業務の拡大、大湾区との連携強化、グリーンファイナンスの開拓
- 世界的な経済・貿易ネットワークの拡大と新市場への進出を促進すべく、より多くのコンサルタント事務所を開設して企業と投資を誘致
- 物流のスマートな発展、近代化、グリーン化と持続可能性の確保、国際化および利便性の向上を促す「現代物流発展行動計画」を発表
- 柔軟な返済制度の提供、電子商取引の活用、デジタル変革の加速、輸出信用保険の充実など、中小企業への支援を強化
- イノベーションとテクノロジー（I&T）エコシステムの成長を加速
 - 重点企業の発展支援、製造業の高度化・変革促進、スタートアップ企業支援のため「新産業発展弁公室」を設置
 - 「香港マイクロエレクトロニクス研究開発院」の設立およびマイクロエレクトロニクス・センターへの委託を通じて、同分野の研究開発と産業発展を推進
 - スーパーコンピューティングセンターの建設を加速し、人工知能の開発を促進
 - 100億香港ドルの「新産業加速計画」を立ち上げて、下流における新たな産業の発展を促すため同額拠出資金を提供
- 文化・クリエイティブ産業の振興
 - 芸術文化・クリエイティブ産業の発展を推進するため「文化・クリエイティブ産業振興庁」を設立
 - 「映画発展基金」と「クリエイティブスマート計画」に43億香港ドルを注入
 - 「重点舞台芸術プロジェクト計画」を立ち上げて代表的かつ大規模な舞台芸術作品を育成し、その長期公演を助成
 - 香港のファッションおよびテキスタイルデザインのブランドをPRするための主要イベントとして「香港ファッションデザインウィーク」を開催
- 香港を屈指の国際海事センターへと発展させ、高付加価値の海事サービスを開発するとともに、大湾区での海事協力を促進する「海事・港湾開発戦略行動計画」を発表
- 新たな成長のエンジン「北部都会区」
 - 産業主導型アプローチの採用
 - 深圳や他の大湾区都市との一体化
 - 市場の力を活用して開発を加速



- 少数民族向け支援サービスセンターを2カ所追加。「少数民族ケアチーム」を設置
- 福祉サービス機関の職員研修、システム強化、多職種連携を支援するため、5億香港ドルの専用基金を設立
- 的を絞った貧困緩和戦略を採用し、「劏房」居住世帯、ひとり親世帯、高齢者世帯を優先対象として支援を強化
- 再就職の促進、再訓練助成金の増額、従業員再訓練委員会の役割と機能の見直し、労働者保護強化に向けた「継続的契約」要件の改正を進める
- 準学士レベルの資格について中国本土との相互承認を推進
- 小中高校におけるSTEAM教育の推進
- 「青年発展サミット」を開催し、香港における青少年の発展を促進
- ワンストップの情報・広報・交流プラットフォームとして「大湾区香港青年創新創業拠点連盟」を設立



- 特色ある観光商品の開発やクルーズ観光経済の発展強化に向けた「観光業発展詳細計画2.0」を策定
- 新エネルギー輸送産業の促進：環境にやさしい船舶用燃料のバンカリングおよび持続可能な航空燃料供給の推進、水素エネルギー開発戦略の策定、陸上公共交通機関のグリーン化促進

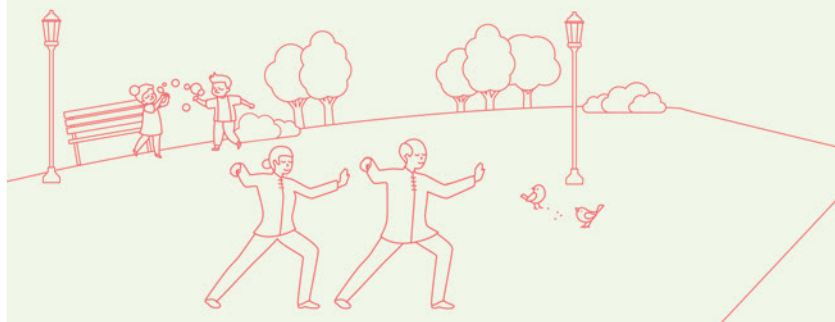


企業を強力に呼び込み人材の誘致と保持を図る

- 「本部経済」を発展させて、香港外の企業が香港に本社や事業部を置くように促すほか、企業の香港移転を促進
- 在港企業の外国人社員を含む駐在員は「数次ビザ」で中国本土に行くことができ、ビザの申請も優先的に処理される。ベトナム、ラオス、ネパールからの人材について、ビザ要件を緩和
- 「香港人材サービス弁公室」を設立し、「高度人材通行証計画」の対象大学を拡大。また、「資本投資者入境計画」を実施
- 「香港国際法律人材育成学院」と「香港国際汚職防止学院」を設立し、人材育成拠点としての発展を図る

健やかな香港

- 新しい医薬品と医療機器の承認審査における「第1層評価・承認」方式の採用に向けて「香港医療製品監督管理センター」設立準備室を設置。新薬発売のスピードを速め、業界の発展促進を目指す
- 医療研究機関にワンストップの支援を提供する「大湾区国際臨床試験所」を河套協力区に設立し、新薬の研究開発を促進
- 電子カルテを一元管理し、ユーザーがいつでも携帯電話でカルテの内容や予約を確認して持ち運べる「eHealth+」を開始
- 耳鼻咽喉科と整形外科について、病状が安定している新規患者の予約待ち時間を2024～25年度に10%短縮
- 病院管理局の精神科症例管理計画を最適化。地区健康センターでメンタルヘルス評価を行う試験計画を開始。ソーシャルワーカーと「ケアチーム」メンバーのメンタルヘルス支援訓練を強化
- 人手不足の緩和のため登録制度を更新し、香港外で訓練を受け資格要件を満たす歯科医師と看護師を受け入れるための新たな道を開く
- 中医学の発展を促進。「デジタル中医学情報プラットフォーム」を構築するとともに、「中医学発展詳細計画」を策定



4年ぶりに開催された「大坑舞火龍」

銅鑼灣（コースウェイベイ）の大坑（タイハン）地区で行われる伝統のお祭り「大坑舞火龍（ファイヤー・ドラゴン・ダンス）」が、中秋節期間中の9月28日～30日、3夜連続で開催されました。

この1世紀以上の歴史を持つ伝統行事では、何千本もの火のついた線香をまとった全長67メートルのドラゴンに、数百人の担ぎ手が命を吹き込みます。火の粉を散らしながら舞い踊る巨大な龍の姿は圧巻の迫力です。



香港經濟貿易代表部（中華人民共和國 香港特別行政区政府 駐東京經濟貿易代表部）

〒102-0075 東京都千代田区三番町 30 番 1 号 香港經濟貿易代表部ビル
 Tel : 03-3556-8980 Fax : 03-3556-8970（代表部）
 Tel : 03-3556-8961 Fax : 03-3556-8960（企業・人材誘致専門室 兼 投資推進室）
 E-mail : tokyo_enquiry@hketotyo.gov.hk

www.facebook.com/hketo.tokyo/

www.instagram.com/hketo.tokyo/

www.twitter.com/hketotokyo

香港特別行政区政府
ポータルサイト

www.gov.hk

政府広報局提供の
無料ニュースサービス

www.news.gov.hk

ブランド香港
Facebookページ

www.facebook.com/brandhk.isd

香港經濟貿易代表部の
ホームページです！

www.hketotyo.gov.hk

